2022 年 6 月　作成（第 1 版）

日本標準商品分類番号
872614

貯　　法：遮光し、30℃以下で保存。
使用期限：3 年 6 ヶ月（表示の使用期限を参照すること。）

承認番号	16100AMZ01282
薬価収載	1979年 1 月
販売開始	1979年11月
再評価結果	1983年 4 月

外用殺菌消毒剤

オキシドール「ニッコー」

OXYDOL「NIKKO」

日本薬局方　オキシドール

【禁　忌】（次の部位には使用しないこと）
瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ込むおそれのある部位

【組成・性状】
1. 組　成
本品は定量するとき、過炭酸水素（H_2O_2）2.5～3.5w/v%を含む。添加物としてフェナセチンを含有する。
2. 性　状
本品は無色澄明の液で、においはないか、又はオゾンようのにおいがある。
本品を放置するか、又は強く振り動かすとき、徐々に分解する。
本品は酸化剤又は還元剤と接触するとき、速やかに分解する。
本品はアルカリ性にするとき、激しく泡だって分解する。
本品は光によって変化する。
pH：3.0～5.0　　比重 d^{20}_{20} ：約1.01

【効能・効果】
創傷・潰瘍の殺菌・消毒
外耳・中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃炎などの粘膜の炎症
口腔粘膜の消毒、齲窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄、口内炎の洗口

【用法・用量】
創傷・潰瘍：原液のままあるいは2～3倍希釈して塗布・洗浄する。
耳 鼻 咽 喉 ：原液のまま塗布、滴下あるいは2～10倍(耳科の場合、時にグリセリン、アルコールで希釈する)希釈して洗浄、噴霧、含嗽に用いる。
口　　腔：口腔粘膜の消毒、齲窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄には原液又は2倍希釈して洗浄・拭掃する。口内炎の洗口には10倍希釈して洗口する。

【使用上の注意】
1. 重要な基本的注意
長期間又は広範囲に使用しないこと。
2. 副作用
本品は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
(1) 重大な副作用
空気塞栓：空気塞栓を起こすことがあるので、循環動態に異常を認めた場合など空気塞栓が疑われる症状がみられた場合は、速やかに本剤の使用を中止し、適切な処置を行うこと。
(2) その他の副作用
口　　腔：連用により口腔粘膜を刺激(頻度不明)することがある。
3. 適用上の注意
(1) 投与経路：外用にのみ使用し、内服しないこと。
(2) 使 用 時：
1) 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
2) 易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用する場合よりも低濃度とすることが望ましい。
3) 深い創傷に使用する場合の希釈液としては、注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
4. その他の注意
長期大量経口投与によりマウスの十二指腸に腫瘍の発生が認められたとの報告がある。

【取扱い上の注意】
配合禁忌：酸化剤、還元剤、アルカリ性により分解する。

【包　装】
500mL

【製品に関するお問い合わせ先】
日興製薬販売株式会社　製品情報窓口
〒101-0035　東京都千代田区神田紺屋町３２番地
TEL. 03-3254-1831

発売元
日興製薬販売株式会社
東京都千代田区神田紺屋町32番地
製造販売元
日興製薬株式会社
岐阜県羽島市江吉良町1593